

株式会社別大興産(不動産業) デジタル技術を活用した社内マニュアルの高度化およびアメーバ経営の実現

参加者

| | | |
|--|--------------------|---------------------------------|
| 企業  | 社名 | 株式会社別大興産 |
| | 業種 | 不動産業 |
| | 事業概要 | 不動産の販売、仲介、管理 |
| | 所在地 (都道府県・市区町村) | 大分県別府市餅ヶ浜町 10番8号 |
| 参加した 受講生の 概要 | 提供データ 種類/蓄積量 | 各種マニュアル 発注書フォーマットなど |
| | チーム名 | TTS |
| | チーム人数 | 3名 |
| | スキル・PR | チーム全員がSE |
| | 進める中で 工夫したこと | 業務では活用できていないAI のサービスをフル活用した点 |

実施概要

課題内容

AI技術等を活用した社内マニュアルの検索性向上と業務標準化

- マニュアルの検索性が低いためタイムリーな活用ができず、判断が属人化（先輩・上司への依存）している
- マニュアルに沿った顧客対応が徹底されていないため、手戻りや対応品質のばらつきが発生している

グループ内受発注業務の脱属人化とアメーバ経営実現に向けたコスト管理

- アナログ（メール）な受発注業務により、対応漏れや欠品が発生し、進捗状況もブラックボックス化している
- 物品発注や人員応援など、グループ間・事業所間のコスト移動（請求）を正確かつ効率的に管理できていない作業工程の効率化による生産性の向上

実施した検討内容

AI技術（NotebookLM）の実用性検証と導入環境の整理

- 実際の社内資料を取り込み、検索精度やQ&A機能などが業務で通用するかを多角的に検証

発注業務のTo-Beモデル策定と実現手段の具体化

- 発注業務および周辺プロセスを含めた理想的な業務フロー（To-Be）を設計し、画面モックアップを用いて操作性を検証
- 持続的な運用を見据え、「kintone」を活用したローコード開発への方針を決定

検討の成果

AI活用（NotebookLM）の社内合意形成と全社展開の決定

- 実機デモにより経営層から高い評価を獲得し、導入に向けた社内合意を形成
- まずは2部門に限定してNotebookLMを展開

kintoneによるシステム構築方針の確立とアメーバ経営実現への道筋

- 物品発注と人的応援（サービス）のサンプルアプリを提供